令和3年4月1日 要綱第15号

(目的)

第1条 この要綱は、町内における空家の活用及び流通を促進するとともに、空家を原因とした住環境及び景観等の悪化を解消するため、奈義町空家対策事業補助金 (以下「補助金」という。)交付要綱を設置し、その運用について必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

- 第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。
 - (1) 空家 奈義町空家の適正管理に関する条例第2条第1項第1号(平成28年条 例第1号。以下「奈義町空家条例」という。)に定める空家をいう。
 - (2) 特定空家 奈義町空家条例第2条第1項第2号に定める空家又はそれになり得る空家をいう。
 - (3) 所有者等 空家又は特定空家の所有者又は管理者で、売却又は賃貸を行うことが出来る権利を有する者をいう。
 - (4) 登録空家 奈義町空き家情報バンク制度運営要綱(平成23年要綱第12号)第 5条第2項の規定により登録された空家
 - (5) 購入 町内に生活の本拠を置き、自己の居住又は店舗の用に供するために空 家を購入することをいう。
 - (6) 家財 空家に使用されず放置された状態の電化製品、家具、食器、寝具、生活雑貨及びその他家財道具をいう。
 - (7) 除却工事 空家又は特定空家の全部を除却する工事(門扉、塀、立木等の撤去を含む。)をいう。ただし、奈義町中間管理住宅事業実施要綱(令和5年要綱第20号)第2条第1項第4号に定める中間管理住宅として活用する場合は、空き家又は特定空き家の一部を除却する工事を含むものとする。
 - (8) 町内施工業者 町内に本社・本店を有する業者(個人事業者を含む。)をいう。

(補助対象要件)

- 第3条 補助金の交付を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、別表に掲 げる補助対象要件のほか、次のいずれにも該当するものとする。
 - (1) 町税等を滞納していないこと。
 - (2) 奈義町暴力団排除条例(平成23年条例第20号)第2条に定める暴力団及び暴力団等でないこと。
 - (3) 申請者以外に当該空家又は特定空家の所有権等を有する者(以下「権利関係

者」という。)が存する場合は、除却工事の実施について権利関係者全員の同意 を得ていること。

- (4) 空家購入補助金にあっては、申請者は空家の所有者等の3親等内の親族でない者に限る。
- 2 空家又は特定空家が複数の者の共有であり、共有者全員から空家又は特定空家を 除却することについて同意を得られた場合は、共有者の中から代表者を定めて申請 者とすることが出来る。

(補助対象経費及び補助金額)

- 第4条 補助対象経費及び補助金額は、別表に掲げるとおりとし、予算の範囲内で交付するものとする。ただし、補助金の交付は同一物件に対し補助金の区分ごとに1回限りとする。
- 2 補助金の交付額は、補助額に1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

(事前協議)

第5条 申請者は、補助金交付の対象となる事務取扱担当課と事前協議を行うものと する。

(交付申請)

- 第6条 申請者は、補助金交付申請書(様式第1号)に別表に掲げる書類を添えて、 町長に提出しなければならない。ただし、補助金を申請することができる日は、次 の各号の定めるところによる。
 - (1) 空家購入補助金

補助金の交付申請日は、不動産売買契約日(空家購入契約日)1年を経過しない日までとする。

(2) 空家購入家族加算補助金

補助金の交付申請日は、申請者が当該住所地において住民基本台帳に記載された日以降で、空家購入補助の補助金交付額確定通知書の通知日から1年以上が経過した日以降で2年を経過しない日までとする。

- (3) 家財整理補助金
 - 補助金の交付申請日は、家財の処分を実行する2週間前までとする。
- (4) 除却工事補助金

補助金の交付申請日は、空家又は特定空家の除却工事の着工予定日の1カ月前までとする。

(交付決定)

第7条 町長は、前条の規定による申請を受けたときは、速やかに申請の内容を審査 し、補助金の交付の可否を決定したときは、補助金交付決定通知書(様式第2号) 又は補助金の交付をしない旨の通知書(様式第3号)により申請者へ通知するもの とする。

- 2 町長は、補助金の交付の決定に条件を付すことができる。
- 3 第1項の規定に基づく通知を行った後は、補助金の交付を決定した額の増額はできないものとする。

(申請の取下げ)

第8条 申請者は、補助金の申請を取り下げようとするときは、補助金交付申請取下届(様式第4号)により、速やかに町長にその旨を届け出るものとする。

(交付決定の取消し)

- 第9条 町長は、第7条の規定により補助金の交付の決定を受けた者(以下「交付決定者」という。)が次のいずれかに該当すると認めるときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。
 - (1) 補助金の交付決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
 - (2) 虚偽その他不正な手段により補助金の交付の決定を受けたとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が不適当と認める事由が生じたき。
- 2 町長は、前項の規定に基づく取消しを行うときは、補助金交付決定取消通知書(様式第5号)により、交付決定者に通知しなければならない。
- 3 補助金の交付の決定を取り消した場合に生じた損害については、町は一切の賠償 の責めを負わないものとする。

(補助事業の変更)

- 第10条 申請者は、交付の決定を受けた事業の内容を変更するときは、補助金交付決定変更申請書(様式第6号)に別表に定める添付書類のうち、当該変更に係る書類を添えて、速やかに町長に申請するものとする。
- 2 町長は、前項の申請があったときは、当該申請内容の審査等を行った上で、その 適否を判断し、補助金交付決定変更通知書(様式第7号)又は補助金を交付しない 旨の通知書(様式第3号)により申請者へ通知するものとする。

(実績報告)

第11条 交付決定者は、第6条第1項第2号に係る者を除き、補助対象事業が完了したときは、完了実績報告書(様式第8号)に別表に掲げる書類を添えて、町長に提出するものとする。

(補助金の額の確定)

第12条 町長は、前条の規定による報告があった場合において、速やかにその内容の 審査及び現地確認を行い、補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合 すると認めたときは、交付すべき補助金の額を確定し、補助金交付額確定通知書(様 式第9号)により、交付決定者に通知するものとする。

(補助金の請求及び交付)

第13条 前条により補助金の額の確定を受けた交付決定者又は第6条第1項第2号

について第7条の交付の決定を受けた交付決定者は、補助金交付請求書(様式第10号)により町長に補助金の交付を請求するものとする。

(補助金の返環)

第14条 町長は、第9条の規定により補助金の交付の決定を取り消した場合において、 既に補助金を交付していたときは、補助金返還命令書(様式第11号)により、期限 を定めて補助金の全部又はその一部の返還を求めることができる。

(関係法令の遵守等)

- 第15条 交付決定者及び除却工事業者は、補助対象工事を実施するにあたり、関係法令等を遵守するものとする。
- 2 前項の規定は、補助対象工事が完了した後においても同様とする。 (委任)
- 第16条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和3年4月1日から施行する。 (奈義町空き家活用事業補助金交付要綱の廃止)
- 2 奈義町空き家活用事業補助金交付要綱は廃止する。
- 3 この要綱は、令和8年4月1日から施行する。

別表 (第3・4・6・11条関係)

/2 1.2	(%)0 -				
	補助対象要件				
	空家購入	家族加算	家財整理補助金	除却工事補助金	
	補助金	補助金			
申	登録空家	登録空家	登録物件の所有者等又	第2条第1項第7号に該当する除	
請	又は空家	を購入す	は、家財処分後、奈義町	却工事を行う所有者等	
者	を購入す	る者(当該	空き家情報バンクに登録		
	る者(当該	空家の取	することが確約できる所		
	空家の取	得を複数	有者及び奈義町中間管理		
	得を複数	の者で共	住宅事業実施要綱(令和		
	の者で共	有する時	5年要綱第20号)第2条		
	有する時	は、その代	第1項第4号に定める中		
	は、その代	表者)	間管理住宅として活用を		
	表者)		予定する所有者等		
補	空家売買		・指定ゴミ袋の購入費用	第2条第1項第7号に該当する除	
助	契約に係		・家電リサイクル費用	却工事に係る経費から、当該空家	
対	る購入金		・津山圏域クリーンセン	に係る有価物の売却金額を差し引	

_	L		l a latitude a a latitude	
象	額		ターに直接搬入して処	いた実質的除却費用
経			分する手数料	
費			・家財整理に伴う掃除委	
			託費用	
			・家財等の運搬に使用す	
			る車両の賃料	
			・その他、家財の処分及	
			び搬出に要する経費と	
			して、町長が必要と認	
			めた費用	
補	対象経費	・空家購入	対象経費の2分の1	対象経費の2分の1
助	の2分の	後に定	(限度額 300,000円)	(限度額 町内施工業者
率	1	住する		1,500,000円 町内施工業者以外
等	(限度額	世帯人		1,000,000円)
	登録空家	数が3		
	1,000,000	人目か		
	円、空家	ら1人		
	500, 000	につき		
	円)	200, 000		
		円加算。		
		ただし、		
		世帯人		
		数5人		
		を限度		
		として、		
		5人目		
		は		
		100, 000		
		円とす		
		る。(限		
		度額		
		500, 000		
		円)		
添	(交付申	(交付申	(交付申請)	(交付申請)
付	請)	請)	1 事業費の分かる見積	1 除却工事費の分かる見積書等
書	1 空家	1 世帯	書等の写し	の写し

類	購入費	員全員	2 その他、町長が必要	2 位置図(付近見取図)
	がわか	の住民	と認める書類	3 現況写真
	るもの	票の写	(実績報告書)	4 登記事項全部証明書(建物及
	(不動	L	1 領収書の写し	び土地)の写し
	産の売	2 その	2 その他、町長が必要	5 全ての権利関係者に係る同意
	買契約	他、町長	と認める書類	書(様式第12号)
	書等の	が必要		6 確約書(空家又は特定空家の
	写し)	と認め		相続手続きが完了していない場
	2 位置	る書類		合) (様式第13号)
	図(付近			7 除却工事施工同意書(空家等
	見取図)			が複数の者の共有である場合)
	3 現況			(様式第14号)
	写真			8 除却工事業者が建設業法(昭
	4 誓約			和24年法律第100号)第2条第3
	書			項に定める土木工事業、建築工
	5 その			事業、解体工事業の許可又は建
	他、町長			設工事に係る資源の再資源化等
	が必要			に関する法律(平成12年法律第
	と認め			104号) に基づく岡山県知事の登
	る書類			録を受けていることを確認でき
	(実績報			る書類
	告書)			9 仕入税額控除を行わない旨の
	1 登記			確認書
	事項全			10 その他、町長が必要と認める
	部証明			書類
	書(建物			(実績報告書)
	及び土			1 除却工事に係る工事請負契約
	地) の写			書の写し
	l			2 除却工事の着工前及び着工後
	2 領収			の写真
	書の写			3 産業廃棄物があった場合は産
	し			業廃棄物管理票E票の写し
	3 その			4 領収書の写し
	他、町長			5 建設リサイクル法届出写し
	が必要			(又はステッカー写し)
	と認め			6 その他、町長が必要と認める

る書類		書類
20 E 256		

様式 略